

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
Blossamジュニア柏崎教室		令和7年4月10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83.30%	16.70%		・お子様が増えてきているため増員をしてほしい。 ・通常は足りていると思いますが、放デイと朝の時間が重なる日に足りないと感じた日もありました。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・部屋ごとに花の名前がついていて子どもに分かりやすい。また、室内の階段の隣にスロープがあり身体に障害がある方にも優しい作りになっていると感じる。	・室内にはスロープがあるが、玄関ポーチに上がるまでに階段があり、スロープがないので今後バリアフリー化の改善が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・掃除の際には換気をしたり、空気清浄機を使用し清潔な空間を心掛けている。 ・日々の清掃で清潔を保っていると思います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		・目標を立て、実行、評価することを実行していると思います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	66.70%	33.30%		・今回が初めてのため分らない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83.30%	16.70%	・ミーティングや職員会議で職員間の意見を共有し把握している。 ・職員会議や日々の反省会を行うことでつなげていると思います。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	16.70%	83.30%		・去年の4月に事業が始まり、まだ第三者評価はされていないと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・定期的な研修を受ける機会があります。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（個別支援計画）を作成しているか。	100%			
	13	児童発達支援計画（個別支援計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			
	14	児童発達支援計画（個別支援計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・個別支援計画は全ての職員が目を通して共有していると思います。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	66.70%	33.30%		
	16	児童発達支援計画（個別支援計画）には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	66.7	33.30%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・職員間で意見を出し合い計画しています。	

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・月間でその週の担当職員を決め、それぞれに立案しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（個別支援計画）を作成し、支援が行われているか。	100%		・時間配分をして個別と集団の療育ができるように計画をする。 。個別の時間では個々に必要な支援を取り入れながら、小集団活動も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・朝のミーティングでその日の情報を共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		・毎日、反省会を行っています。 ・日々の反省会を行い、課題や改善につなげていると思います。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・あったことを記録に残し、見た職員にも共有できるようにしている。	・日々の記録は関わった職員が記録をしています。しかし、記録をする職員、全くしない職員と、隔たりがあります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（個別支援計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83.30%	16.70%		・まだ連携不足な所もあるが、少しずつ関係機関の連携はとれるようになってきているので引き続き情報交換、情報共有を行ってきたい。 ・情報共有ができている面もあるが、保育園等で支援内容や個々の目標に向けて同じ方向を目指し対応ができれば良いと思います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			・園によって情報交換、情報共有ができてい所とできていない所があるので、どの園とも定期的に情報交換、情報共有するようにしていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83.30%	16.70%		
	28	管理者・児童発達支援管理責任者が地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設け、職員間で情報を共有しているか。	66.70%	33.30%		・情報交換は時々あるが、助言を受ける機会等は設けていないので、今後はそのような関係性が築けるようにしたい。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		100%		・交流や活動をする機会は少ないと思います。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・日々の様子や何か伝えることがある際は時間を設けたりHUGやLINEを通して状況を伝えたいと思います。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16.70%	83.30%		・今現在は行った事がないが、今後保護者が必要とするならぜひ機会を作っていきたい。 ・家族参加の研修等の機会はまだ行っていません。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・契約の際に行っています。	
	33	児童発達支援計画（個別支援計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	34	「児童発達支援計画（個別支援計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画（個別支援計画）の同意を得ているか。	100%			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・ご家族から相談がある時は、管理者が時間をとって対応しています。	

保護者への説明等	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	83.30%	16.70%	・定期的に親子で参加できるイベントを行い、保護者同士で交流できる機会（談笑できる時間）を作っています。	
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・HUGやInstagram等を通して情報をお伝えしています。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する、地域のイベントに参加する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		・まだできていないので、今後地域の方と交流ができる機会を見つけていきたい。 ・まだ地域の方々と関わるイベント等は行っていない。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・年間を通して定期的に避難訓練を行っています。	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	50%	50%		
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83.3	16.70%		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83.30%	16.70%		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・ヒヤリハットがあった場合、用紙に記入して職員間で共有している。	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	83.30%	16.70%		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画（個別支援計画）に記載しているか。	100%			・契約時に説明はしているが、個別支援計画には記載していないので、追加する必要がある。